



しかた SHIKATA しん Shin (四方 晨)

代表作

- 『むくげとモーゼル』(1972 年)
『笑えよ! ヒラメくん』(1974 年)
『はばたけ! リコの太陽』
(1976 年)
『どろぼう天使』(1982 年)
『しゅっぱつ!』
『デパートたんけんたい』(1986 年)
『国境』第 1 - 3 部 (1986 - 1989 年)
『里見八犬伝 (上)』(1992 年)
『里見八犬伝 (下)』(1992 年)
『闇を走る犬』(1993 年)

活動略歴

- 1928 年 四方博 (京城帝国大学の教授や岐阜大学の学長を務めた社会経済学者)、母・れい (洋画家) の子として生まれる。愛知大学を卒業後、中部日本放送に勤め、児童番組のディレクターとしても活躍する。
- 1973 年 名古屋に児童劇団「うりんこ」を創設。その代表として活動。
- 1986 年 劇団自前の劇場である「うりんこ劇場」を名東区八前一丁目に構える。
- 1988 年 児童劇団「うりんこ」名誉代表として劇団の発展に寄与。
- 1987 年 愛知大学短期大学部教授を務める。
- 2003 年 名古屋市昭和区の病院で死去。

参考 / 「国境」しかたしん 1995 年 理論社
劇団うりんこ公式サイト

SHIKATA Shin (1928– 2003)

A children's literature author and playwright. In 1973, he founded "Urinko,"* the first professional theater company specializing in children's plays in the Tokai region. He served as its representative until 1982, performing not only in educational institutions but also in various places where children were present throughout Japan.

* "Urinko" means a baby wild boar.

ジャンル / 児童文学

Children's literature

名古屋市収蔵の資料
／しかたしん

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to "SHIATA Shin" in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.

←名古屋市（収蔵先：二葉館）に
寄贈されたしかたしん氏資料の
一部。台本、付箋や一部書き込
みもある自著、草稿メモなど。



←（下左）「赤い鳥」の考察メモ。
（下右）児童文学や自身の作品への評論
が掲載されていた年月日が書かれた
ファイル。



←（中央上）「はやてに走れあまんじゃく」の
台本。『乗り出せペンギン号 [舞台台本]』
＜金の星子ども劇場 4＞1976年 に所収され
ている。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。